

山陽受信跡地へのレーダー配置についての説明会（第2回）

R1.8.28（火）19～21:03 埴生公民館

（参加者）

市民：43名（うち地元は32名）、報道機関：14社、防衛省：7名

（説明会開催の趣旨）

説明会は市が開催したもの。地域住民の不安を除くために防衛省からの説明の場を設けた。

（主な質疑ほか）

■今日の説明を聞いて「影響が出ないよう設計します」と言うが、これからなのか。住民生活への対応をどう考えているか。

→システム設計自体は終わっているが、電波防護指針に則って確認しながら進めていく。テレビ受信等も含め、影響のないことを前提としているし、周波数も異なるため問題はないが、運用後に何かあれば、原因を調査、特定し対応していきたい。

■「不要な電波ブロック」は他国の通信衛星等の電波という意味か。

→周辺地域や住民に影響が出ないように、電波をブロックするという意味である。

■同施設の整備には全面的に反対であり、協力はできない。

■工事等で出る水の放水先はどこになるのか。

→タイヤ洗浄等の工事が出る泥については沈砂池を經由して排水する予定。長期間放置されていたため、工事の最初の段階でまず沈砂池の草や泥等を撤去する。最終的な排水がどこの河川になるかを把握していない。

■事前にしっかり調べるべきである。

■整備に関して何らかの不安があるから、今日もこれだけ来ている。新聞（8/5読売）で「宇宙部隊創設」の報道があったり、「対衛生兵器」と書いてあるからには、今回のレーダー設備がこれらにつながっていくのではないか。

→そうした部隊は事実であるが、これまでの説明どおり、このレーダー施設はわが国の衛星を取り巻くデブリを監視するためのものであり、「攻撃」ということはないし、妨害するような電磁波もなく、監視レーダーだけである。

■この設備が宇宙部隊の一種でないと明言できるか。こうした施設はテロ等の対象となりうるもの。その時に地元周辺にどう知らせるのか。

→こうした監視体制の構築は防衛省だけでなく、低空部分のデブリ監視はJAXAが行っている（軌道を変えるなどで対応）。このように政府機関が一体となってやっている中で、高空部分は防衛省が受け持つということであり、そういう性格でものであるため、テロ等の対象になる可能性は低い。

■まやかしのようには答えるな。政府はいつもそう、原発しかり。何かあった時には住民の生命をしっかり守ってほしい。想定外はありうる。レーダー自体は安全とは考えているが、そう思わない人も現実には存在する。その時にどうするのかを聞いている。

→しっかりとした警備システムも導入するし、本施設は航空自衛隊（防府北基地）が24時間体制で管理するため、何かあれば駆けつける。

■言えないこともあるのはわかっている。最初からそう言ってもらえればいい。

■電磁波による影響が心配。慎重に環境への影響を含め、具体的な数字で示してほしい。

→防護指針に則った形で行うが、レーダーの諸元についてはこれからのため、現段階では示せない。基準値内であることは確認している。

■運用開始後も、モニター等で定期的に監視、測定するのか。

→当然、行う予定。数字等については必要があれば示していきたい。

■電磁波や電波の、特に子どもへの影響を心配している。照射角度や出力はどうか。何かあった場合でも敷地外に及ぼさないようにしてほしい。納得できる根拠を持って説明してほしい。

以前のP3Cの時は、雨水排水が流れる水利組合との協議までしている。今回はどうか。

→イージスアショアについては多くの人が懸念している。これは弾道ミサイルを追尾するシステムであり、中国や北朝鮮を想定すればその照射は地表近くになるが、本施設の出力が他より特別に大きいということはない。上空に向けてのものであり、下を向くことはない。設置後にシミュレーションどおりかを確認した上で運用を開始したい。

■その都度、住民説明会を開催してほしい。

■個人的には、宇宙空間でのデブリによる事故があるというのは以前から考え、心配していた。国がしっかり防衛してくれるのならよいが、住民の不安についても払拭してほしい。レーダー基地は必ず必要であり賛成であるが、地元もいろいろな問題を抱えるわけだから、もっと説明会をしてもらうようお願いしたい。

→(市総務課長) 必要に応じ、防衛省側に求めていきたい。

■今日の説明で言っている「静止衛星」とは何か。以前は7基と言っていたと思うし、「上空を飛行機は飛べない」とも言っていた。また、レーダーは「15~40m、全天候型ドームがつく」との説明であった。

→飛行機の航路と交差しないようレーダー波を照射するような対策をとる。また詳細については基本システム設計の結果であり、直径15m弱が6基の予定、お椀型で覆うイメージである。

■この設置を市議会は承認したのか。議会承認なしでできるのか。

→(市総務課長) 国の政策であり、市はコメントする立場にないし、市が承認するものでもない。説明会については、こうした住民の不安があるために市の判断で防衛省に開催を求めたものである。

■この整備に伴って、1億数千万のお金が市に入っていると聞く。なぜ言わないのか。

→(市社会教育課長) 現在整備中の埴生地区複合施設には、従来メニューの小月基地周辺コミュニティ整備補助金として入っているが、本レーダー施設に関わるものではない。

■キラ衛星をどうこうではないのか。

→監視のみである。

■現在の世界情勢として、宇宙軍はアメリカや中国などどこもつくっているのに、日本ではわずか150人程度。もっと共有を進めるべき。

■監視レーダーの機能が「攻撃」ではないとしても、その情報を提供するのならば間接的に協力することになる。であれば「関係ない」ことはない。

→現状では、デブリ等がぶつかりそうになれば、その保有者(国)に伝えて軌道を変えてもらうしかない。現段階で、日本は対衛星兵器といったものを持っていない。

■ただ「ゴミを見つけて報告する」だけではないはず。今はそうでも将来をそれを見込んでいなければならない、あまり否定しない方がよい。今からは宇宙戦争の時代。

■相応のリスクがあるのは間違いないので、しっかり地元を示してほしい。

→要望については市と相談して検討する。周辺対策事業もいろいろあるので、市から相談があれば検討していく。

■2回程度の説明で、地元がOKを出すわけがない。

■工事途中での内覧会のようなことはできないのか。国の土地の中で何をしようが勝手かもしれないが、モノがモノだけに、その安全も含めて知らせてほしい。

→検討したい。

■他で計画されている準〇〇衛星とあわせて、2023年に完成させるということか。

→衛星は別として、本整備計画としてはその時期の完成を予定している。

■完工後に施設を見たい。

→要望があれば（工事途中も含めて）検討したい。

■工事に関して言えば、周辺に川らしい川はない（せいぜい境川？）ため、農業用水路に放出するようになると思われるが、この水路の柵は当時の事情から蓋がはずせない構造になっており、掃除もできないのが実情。どうかならないか。

→敷地外のため、管理者（県？）とも相談したい。

《校区外》

■今回の説明会をほとんどの市民は知らない。当面ある心配として、イージスアショアや米軍との関係はどうか。また照射による乱反射等はないのか。

→イージスアショアは迎撃ミサイルを発射するもので、本レーダーはデブリを監視するもの。本データをアショアとリンクさせることはない。乱反射等に関しても、防護指針の範囲内であり、問題ないとしている。

■他国からの攻撃となれば、攻撃対象になるのではないか。

→監視する機能しかない。岡山のJAXAと一体となって全体監視システムになる。

■今すぐは心配していないが、将来的に考えれば、レーダーという「目」は必ず攻撃対象になるという心配である。いくら反対と言っても、わからないことばかり。どんどん進めるのではなく、説明をしっかりとしてほしい。

■様々な資料等からも、この植生のレーダー施設は、SSAの一つとして位置づけられているものであり、運用システムとして東京府中と植生が結びつく。「自衛隊や米軍と情報共有する」とある。今わかる範囲で、住民をそれを説明すべき。

→情報共有はされるものとする。データの公表について、今はまだ諸元が未定であり、決まった段階で検討したい。

■攻撃の際に最初の標的になる、という指摘もあり、周辺住民は不安になる。

→システムを使って、24時間防衛体制を検討する。

■京都で既にドクターヘリ発着への影響があった。

→運用開始までに関係機関と協議し、連絡体制を確立させた後に運用を始める。

■今日は、地元からも有事を想定した質問がほとんどである。一昨年の11月以来、説明がないがしるにされてきた。不十分だったのではないか。まだまだ今日の主題である工事よりも、整備そのものの不安が強い。

→市と相談して検討していく。

■赤道上 36000km に発射した時、携帯電話や漁業無線など、住民生活への影響はないのか。上空と
いっても必ず漏れがある。

→仰角 20 度以上を想定。本施設では、施設内で処理できるほどの広さの敷地を有している。現
段階では影響はない、と考えている。

■「総務省の防護指針」と言うが、機器も決まっていないのに言い切れるのか。強い電波、すごい出
力であるのは間違いない。JAXA がやるというならば平和利用と思えるが、なぜ防衛省なのか。

→決して強い電波ということではないが、具体的には今は示せない。引き続き、そのように設計
していく。運用までに、しっかりシステムを構築した上でやる。

■レーダー設備は国産か。アショアのレーダーのようにアメリカの押し付けになるのではないか。
技術力自体は国内企業にもあるはず。

→設計は三菱電機が行っている。この仕様に基づいての競争入札の結果で決定する。国内業者
でも十分対応可能であると認識している。